

第3回  
(仮称)北統合中学校  
学校再編代表者会議  
議事録

日 時：令和8年3月23日（月）  
場 所：ひかた市民センター

### 第3回 (仮称)北統合中学校 学校再編代表者会議

日 時 令和8年3月23日 (月) 午後6時30分

場 所 ひかた市民センター

#### 議事日程

- 1 開 会
- 2 前回議事について
- 3 議 題
  - (1) 議案第1号 学校再編の可否について (諮問)
- 4 その他
- 5 閉 会

#### 出席委員 (23名)

##### 保護者代表

第二中PTA	井ノ上 直人	第二中PTA	大林 哲也
干潟中PTA	高安 忠廣	干潟中PTA	鏑木 正彦
干潟中PTA	高木 真弘		

##### 地域住民代表

江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦	新町仲町区区長	浪川 正彦
中11区区長	菅谷 圭一郎	西18区区長	越川 雅昭

##### 学校教育関係者

第二中校長	齊藤 実	干潟中校長	溝口 洋樹
-------	------	-------	-------

##### 福祉関係者・青少年育成関係者

主任児童委員	金谷 茂	青少年相談員	宮野 智
民生委員	大湊 一文	青少年相談員	石井 和芳

##### その他教育委員会が必要と認める者

共 和 小	廣岡 美穂	共 和 小	高埜 真奈未
保 護 者		保 護 者	
池の端保育所	宮内 大知	共 和 保 育 所	高安 めぐみ
保 護 者		保 護 者	

中保 和護 小者  
干瀉町中央保育園  
保 護 者

藤崎 理佐  
高木 奈保子

萬保 歳護 小者  
干瀉 中  
学校運営協議会委員

井上 真実  
花香 武見

### 欠席委員（1名）

第二中PTA 諸持 典明

### 事務局職員出席者

教 育 長 向後 依明  
教 育 総 務 課 長 八馬 裕樹  
教 副 課 長 林 義樹  
学 校 再 編 室 主 査 加瀬 政吉  
学 校 再 編 室

教育総務課長 飯島 正寛  
施 設 班 長 石毛 厚史  
学 校 再 編 室 査 椎名 倫史  
学 校 再 編 室 査

傍聴者 1名

## 1 開 会

○事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、これより（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

なお、本日の審議会は、「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条により公開するものとなっております。傍聴人の皆さまにお願いいたします。本日の会議は受付でお渡ししました傍聴要領を守っていただきますようお願いいたします。なお、会議の進行を妨げることがあった場合には、退場していただくこともありますので、ご注意くださいようお願いいたします。また、傍聴要領に記載のとおり、会場での写真撮影、録画、録音等を行わないようにご注意願います。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りになるかマナーモードに設定していただくようお願いいたします。

## 2 前回議事について

○事務局 それでは次第の2前回議事について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局 （資料説明）

○事務局 ただいまの説明に対して、ご意見等がありましたらお願いします。

○委員 今過疎債のご説明をいただいたんですが、過疎債と言っても国の予算枠があって、その中で千葉県に割り当てられる枠があって、その中で旭市が、というふうに制限があるというふうに記憶しているんですけど、過疎債を手上げた分がすべて来るといような前提のご説明だったように感じますので、その辺についてどのような認識でいるのか。

○事務局 今おっしゃっていただいた内容でほぼほぼ間違いないのかなと思います。ただ実際は県内でも過疎地域が増えている中で、財政部局のほうに話を聞くと、最初の予算設定をかなり厳しく各自治体のほうで精査をした中で、国のほうにきちんと書類を提出するという形が以前よりもだいぶ厳しくなっているという話を伺っていますので、条件としては、元々は100%充てられて、70%が交付税措置されるというような条件だったところなんですけど、この考え方が、従前に聞いてきた内容と、今回県の方の回答が違ったものですから、このように説明させていただいているんですけど、これからはおそらく国のほうも簡単に100%充当していいですよという形になるかどうかは、実際難しいところもあるかと思っています。例えば干潟地域の生徒の人数で按分するよりも有利なメニューがあれば、それを活用して事業に充てるということも可能ですので、一番有利なものを市が選択していくという形になっていく

かと思えます。

○事務局 ほかにご意見がありましたらお願いします。

(発言する人なし)

○事務局 それでは続いて次第の3、議事に移ります。これ以降の議事につきましては、旭市学校再編代表者会議条例第7条の規定により、会長が議長となります。井ノ上会長よろしくをお願いします。

### 3 議 題

#### (1) 議案第1号 学校再編の可否について(諮問)

○会長 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

前回に引き続き、議案第1号学校再編の可否について、話し合っていきたいと思えます。前回会議で、スピード感を持ってやらなければいけない、また新設ということも諦めきれないという意見をいただいたところなんですけど、採決の前に何か意見や質問がありましたらお願いします。

○委員 採決の前にどうしても言いたいことがあって、3月7日に子供が卒業式を終えて卒業しました。中学校は3年間ですけども、すごく成長して、中学校には感謝しています。そういう中学校を、これから作るのか、反対なのかはわかりませんが、中学校というのはかなり大事な施設なんだという想いがあります。私の意見で言うと、新しい中学校をしっかりと作って、人間形成する基礎となる期間だと思うので、そういう時にしっかりとした施設で環境を整えてあげないといけないのかなと思えました。

○委員 私は持続可能かどうかという考えに基づいてまして、この学校をこの計画のままやっても持続可能じゃないんじゃないかと感じております。さらに、よく皆さんおっしゃる子供にとって何がいいか、これは皆さん違って、子供にとっても違って、同じ考えはないと思うんですね。なので、どこでどう教育が行われるかっていうのは、ここで論じてもいい議論にはなりにくいのかなという中で、やはり持続可能かどうかというところに戻るんですけど、子供はすぐに大人になります。今話をしているのは70億円近いお金を使って、持続があまり可能ではないようなものを作って、さっきの過疎債の話もそうですが、今いるお子さんがすぐに大人になって、そのお子さんたちが将来負うべき借金なんですね。ですから学校の持続可能だけに限らず、地域、市としても持続可能かどうかにも関わってくると思うんです。今年の予算で300億ちょっとでしたっけ、一般会計で。この事業が70億なんで、300万円の収入

の人が70万円の買い物をするのと同じような感覚だと思うんですけど、そういった大事業ですから、そういった意味で私は持続可能というところに着目してこの会議にずっと出させていただいているんですけど、基本的にはこのままやるには反対だと考えています。

○会長　ほかにご意見、ご質問はありますか。

ないようですので、議案第1号学校再編の可否については、本日の会議で採決したいと思います。皆様よろしいですか。

異議なしと判断し、採決したいと思います。

本日の出席委員は23名、議案第1号は3分の2以上の16名で決定となります。なお、この採決には議長である私も参加します。

議案第1号学校再編の可否について、琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設することとして答申することに、賛成の方の挙手を求めます。

(挙手 13名)

○会長　挙手が13人で3分の2に達しないため、反対と認めます。

よって、議案第1号は反対として答申することに決定いたします。なお、答申書の作成につきましては私にご一任願いたいと思いますがいかがでしょうか。

ご異議が無いと判断させていただき、答申については私のほうで取りまとめのうえ、教育委員会に答申させていただくことといたします。

事務局の説明の通り、次回からは今後の方向性について協議をしていきますが、次回に向けて何か聞きたいことや欲しい資料などがありましたらお願いします。

○委員　次回の開催日程が5月20日、次が7月15日で、今まで1カ月置きだったのが、2カ月置きになっている。今回反対にした理由というか、付け加えるとしたら、子供の人数の増減、基本的に減っていくと思うんですけど、それによって学区の再検討と、市全体の都市計画、学校ができるということは都市計画にも関わってくると思いますので、旭市としてどうしていくかという展望も一緒に考えていくべきだと思います。

あと干潟中のことに関しては、人数が減っていくという問題が深刻だと思いますので、学校再編のことと並行して、救済という言い方が合っているかはわかりませんが、別途考えていくべきだとも思います。この中で一緒に考えていくというよりも、子供たちに対して教育をどのようにしていくのか、人数が減っていく中で子供たちが犠牲になることはあってはならないので、別途そこを考えていくべきだと思います。

それで今回反対にしたんですが、5月、7月と2カ月間空いてしまうというのは、感覚的

に全く急いでいるように感じられない。もっと急ぐべき案件、ちょっとゆっくりじゃないですかっていうのが個人的な印象です。

○委員 干潟中は来年の中学生が一クラスと聞いています。いずれ各学年一クラスになると、全科目教える先生が揃わないという意見があって、そんなのんびり検討していったいいのか。干潟地区は本当に急いでもらいたいというのが私の意見です。元々検討が遅かった上に、こんなにのんびりやっていたら本当に大変になっちゃうという感じしております。

○会長 そういったスピード感の話が出たところなんです、私の考えなんです、前回の話を聞いて、一旦二中だったり海上中に、3年から5年を目途にスクールバスを使って合流っていう考えもあるのかなと思っていました。

今回反対したのは、まずやるべきことは中学校の適正な人数の基、学習できるというのが必要だと思って反対にしました。

個人的な意見ですが、一旦旭の中学校に統合して、干潟中が空くので、そこに建て替えるのもありかなと思ったんですけど、なかなかそのメリットというのも見いだせなかったんで、うまく説明できなかつたんですけど。

○委員 子供たちが学ぶ場所というのは、反対したからこそすごい責任を感じております。前回送迎のお話が出ておりました。飯岡町に勤めていたことがあるんですが、当時から送迎がすごく多い地域だったんです。共和の子は自分で行ったり、自転車で行ったりしていたので、すごい違和感を覚えました。6キロまで自転車とか、いろいろルールを作っていたいたんですが、もう少し送迎についても全体的に、時代的にみんな送迎しているんですよ。二中のほうへもみんな送っています。その辺も含めて、費用が費用がということではなく、時代が時代ですから、歩いてこいと言っても誰も歩いていかないし、自転車が危ないって意見がありましたけど、運転手のモラルの問題であって、道路行政ではどうしようもないんですよ。ですからもう送迎でしか解決できないと思いますので、その辺もっと重く受け止めていただいた上で、もう一度スピード感を持ったうえで見直しをしていただけると助かるなというのが感じたところです。

○委員 どちらにしても干潟中の建物は古いので、建て替えは必要かと考えてます。新しい中学を作ってもすぐ統合になっちゃうんじゃないかっていう話なんですけども、人数が少なくなったら、また別の中学校を統合すればいいかなと思っていました。ですから建物をまず作っておいて、それから人数を合わせるためにどんどん統合していったら、最終的には旭市で一つになっても耐えられるようなものを作ってあげればいいのかなと。旭市で足りなければ八

日市場とか銚子とかどンドン広げていっても別に問題ないのかなという意見を持っていました。

なので、次回の資料としてはそういうものが可能かどうか。新しい中学を作って、それを街の中心として、通学路が整備される計画も立てられるし、遊歩道を新設したり、街灯をつけたり、歩行者用の信号をつけたりとか、そういった計画の基にもなるので、新しい中学校をそういう風に活用できればいいかなと思ってました。

○会長 他県では、特に福島とかは、県立の話になってしまうんですけど、中高一貫が進んでいて、県内でも柏のほうですかね、小中一貫になっているという話も聞いているので、新しく建てて人数が少なくなったとしても、いろいろ柔軟に、使い方は途中で変えられるのかなというふうにも感じたところであります。

ほかにありませんか。

○委員 同じような意見なんですけれども、私も人数の関係で反対したんですけれども、新築には賛成で、二中也段々と古くなっていくので、やっぱり新しく新設してやっていけたらなと思います。後々小中一貫もいいなと思っているし、あと送迎に関してなんですけれども、二中だと送迎の場所がないような話も言っていたので、新しく建てて、送迎の場所も作っていただいって思いました。あと、できるだけ自力で行ってほしいという考えもあるので、二中じゃなくてこっち方面に学校ができていたらいいなと思いました。

○会長 二中の脇にバッティングセンターがあるんですけど、その脇が空き地になっているので、そこをうまく利用できたら、二中の壁を壊せばすぐ入れるかなって思っていたところでした。

また、今の干潟中の位置って旭の北側の入り口だと思うんですよね。まずは子供の教育が優先ですけども、災害が起きた時の避難場所というところでは、あったほうがいいのかなくて勝手に思っまして、近くの東総運動場も連携できるので、いろいろと活動がしやすいのかなと思っしていたところです。

○委員 私は基本方針については賛成で意見させていただいたんですけど、学校のあり方についてはもうちょっと考えたほうがいいのかなどは思います。学校とは単なる教育施設じゃなくて、地域の存続に関する基盤であって、学校規模の適性化は必要だと思うんですけど、それを理由に地域から学校をなくしてしまうっていうのは結果的に地域の衰退を加速させてしまうんじゃないかなと思います。

地域ごとに学校があって、子供が地域の中で育つ環境っていうのが大事で、単純に統合し

て大規模校に就学するんじゃないなくて、交通インフラの整備とか学校選択の仕組みを工夫することで、それぞれの子供に合った学びの場を選べるようにするってことは大切だと思います。

私は大阪出身で旭に来て7年目になるんですけど、旭に来る前は大阪市内にいて、大阪市内では小中学校で学校選択制が導入されていて、子供と保護者が一緒に見学して選ぶことができます。子供主体を本気で考えるんだったら、旭市においてその制度がうまくいくとは限りませんが、それぐらいの制度改革を検討してみてもいいんじゃないかなとは思っています。

○会長 そのほかに何かありませんか。

○事務局 先ほど次回の会議が少し遅いんじゃないかというような意見がありました。今回賛成反対のどちらの結果に転がったとしても、市のほうで再度検討する内部会議を設けます。仮に反対だった場合にはどういった見直しが必要かということで、まずこの会議にかけて、その意見を集約して、またこの代表者会議に向けて資料提供をするということで、このスケジュール調整をさせていただきました。人数的なものや街づくりの観点からいろいろご意見をいただきました。そういったところも含めて、市の横断的な協議の場を設けたいということでこの日程で設定させていただきました。

それと、学級数が少なくなったら教職員の人数が少なくなるというようなお話をいただきました。一般的な県の配置基準から言うと、例えば全ての学年で単学級になった場合、3人の担任の先生がいるかと思っています。基準からすると、ここに4人の先生が加わります。そうすると、専科教科が10教科ありますので、3人が不足になるかと思うんですが、ここは教育環境を整えるという意味で、市の教育委員会としても、先生が足りるように改めて県のほうに要望していきたいと考えてはいます。

それと干潟中学校の再生というようなお話もありました。この場で議論していただいて、そういったところのご意見が出れば、また市のほうで横断的に協議の場を設けて、市のほうでも別の提案として、いろいろ資料提供させていただけたらなというふうには思っています。

それと通学路の問題、あとバスというようなご意見もありました。これは最終的に統合先がはっきり決まった時点で、また改めて準備委員会等を設けて、再度議論していただきながら、どういった方法で通学をするかということを検討していただけたらなというふうに思います。

それと学区の見直し、それと統合するまでの救済措置というようなご意見もいただきました。今の基本方針の中で救済措置というものはないんですけども、事務局としても皆さんが言ってるように、少しスピード感を持って再度検討していきたいと考えております。

○会長 学区とか通学方法については、学校の位置が決まった後に最適案を考えていただくという回答を得られたかなと思います。

ほかに皆さんから確認したいことなどありますでしょうか。皆さんの中で今後の方向性は何となく考えはついてますかね。

○委員 私は今の二中を建てている時に在学していて、今の校舎に数ヶ月だけ入って卒業したんですけど、在学中に体育館も建てて、その後校舎を建てて、結構制限がかかっている、中学最後の体育祭は一中まで行って、あまりいい思い出がないと言ったらあれなんですけど、制限がいっぱいあったので、子供たちにそういう思いをさせたくなくて。私の考えなんですけど、とりあえず干潟中を二中に1回統合してもらって、今7クラスだと思うんですけど、私がいた時は8クラスで回っていて、今は特別学級とかが増えちゃってるので教室数も制限があるのかなって思うんですけど、ちょっとその辺は相談になっちゃうかもしれないんですけど、1回統合して、その間に新しく別の場所に新設をしてもらって、先を見据えた校舎を新設してもらって、完成したら一中と二中を全部まとめちゃったほうがいいんじゃないのかなってというのが私の意見です。

○会長 5、6年先だと人数的にちょうどいいぐらいになります。それより早めてもちょっとした改修でできるんじゃないかなと、素人考えで思うので参考になるかなと思います。自分も小学校3年生くらいの時に体育館の建て直しがあって、1年半くらい使わない時期があって、不便だったり制限される場所がありましたので、生徒がいる間に大規模な改修がありますと、災害のリスクもありますので、統合した上で新設なり建て替えなりっていうのがあったほうがいいかなと思いました。また旭の全体最適を見て、場所はもうちょっと違う位置についていう意見ですかね。

○委員 先ほど送迎がありきでっていうお話があったと思うんですが、それは子供がまだ小さい親からしても是非そうあってほしいと思ってます。確かに距離感で言ったら自転車を通えるけど、正直私ももう何年も前の話ですけど、小学生、中学生だった時は基本的に学校まで送り迎えでした。自転車を通えるんですけど、私の家から二中までで自転車で25分。基本的に周りに何もないので向かってくる南風北風に向かっていく感じで、横殴りの雨にも耐えないといけないので、それだけじゃなくて今は暑さもあると思っていて、外で運動するのやめましようっていう放送が流れているにも関わらず、そんな中二十分、三十分、四十分と自転車に乗って、子供を炎天下の外を走らせるっていうのもちょっとどうなのかなっていう、今のご時世にそぐわないって言ったらやっぱりそうなのかなと思います。今後基本方針をま

た変更して新しく新設っていうことであれば、そのバスターミナルの問題だとか、あとは先ほどの歩道の問題だとか、その通学に関する送迎も含めてですけど、そういう所に関しても全てこの予算の中にしっかり含めた状態での話し合いができるといいのかなと思っています。

○**会長** 前回からスクールバスのお話もいただいてまして、自分が中学生の時に同級生が痴漢にあったとかですね、そういったのも結構日常的でしたが、気候の話もありましたけれども、昔に比べれば物騒な世の中にもなってきたというのがありますので、子供の安全、交通上だけではなく、そういった安全も考えるとスクールバスも必要なのかなと感じるところです。

○**委員** 例えば干潟地域だけで中学校建ててることになった時に、また再編会議みたいなものって、干潟地域の中だけやっちゃうとみんな賛成になっちゃうと思うんですよ。それともまた再編会議ってというのは旭市全体でどこかの代表が集まって決めるんですか。会議がどういう形で行われるかによって、またそれができるかできないかになると思うんですけど、その辺が聞きたいです。

○**事務局** 代表者会議がこの再編の最終的な会議ですので、これ以上新しく会議を設置するというところは、今の時点ではありません。

○**会長** 今回否決となって、色々皆さんから意見をもらってるところなんですけども、否決になったんで北中学校は建たないってことはほぼ決まりということでしょうか。

○**事務局** 基本方針通りこの5校の統合で新設するという点に関しては今回否決されたので、協議事項の5というところに会議は変わっていきます。この中で基本方針と異なる方向性というところの答申を、改めてこの会議の中でしていただくような予定を今考えております。その中でいろいろ言った、例えば二中に統合ってというような話や、豊畑・干潟の学区の見直しというような意見もいただきました。それに付け加えて通学方法のご意見もいただいています。それを市の中でどういった方向性がいいのかというところを協議をさせていただいて、その協議の結果をまた資料提供していきながら、この会議の中で議論していただく流れを想定しております。

○**委員** 次回に向けてお願いなんですけど、今後の方向性というところ、事務局のほうから新たな方向性について提案があって、この場でまた協議するのか、もしくは我々側で、今のようない見をどんどん出していくのか、いずれにしても、ちょっと他所の地区の話になりますが、矢指小の新生生の人数が5人とか見ましたけど、我々とは全く別のお話なんですけど、市としては全体の話になります。その辺を全く無視したまま、この場で話をしていっても、全くもって何やってるんだってということになりますので。何か干潟中よりもそっちのほうがち

よっとよろしくないような気がするんですけど、その辺の対応とこちらの対応って並行してるんだと思うんです。その辺を報告していただきながらのほうがいいのかなど、もうちょっと皆さんにも市全体の方向性を示していただきながらっていうところをお願いしたいなと思います。

○事務局 南統合中のスケジュール的なものも含めて、市の中で協議をして、その内容を踏まえて、さらに資料提供をさせていただいて、改めてまたこの会議の中で議論していただけたらなというふうに考えております。

○会長 個人的に小学校保護者の方に聞きたいんですけども、仮に干潟中の今の人達を二中や海上中に割り振って、生徒がいなくなりました、干潟中の場所だったら用地交渉もいりません、ただ西側の土砂だけ気になるんでそこをちょっと改修するのか土留めするのか伐採するのかわかんないですけども、そこに新たに建てたとして、琴田小、共和小から完全にスクールバスで行くって言ったら、ご家庭としてはどう感じますか。単純に遠くなるからちょっと困っちゃうかなって感じですね。

○委員 今の干潟中に送っていても時間的にはさほど変わらない感じですね。うちはナリタヤのほうなので二中がちょっと遠くて、私も送り迎えしてもらって、自転車買ったんですけど、手で数えられるくらいしか乗らなかったの。

○委員 うちは袋公園のあたりなんですけど、距離的に考えたら二中に送っていったほうが近いので個人的には二中に行きたくはないかなと思います、新設っていう魅力はどうしてもあるかなとは思いますが。

あとはやっぱり今お話を聞いて、富浦、矢指の現状はちょっと自分も知ってるんですけど、確かにそっちのほうがまずいなって。やっぱり中央小に行ってる子達って、割と一中に行かずに二中に行ってる子のほうが多いので、そう考えると一学年が20人切ることも想定されるので、本当に北だけじゃなくて、南も一緒に考えていかなきゃいけないのかなって思っていました。

やっぱり自分的には、自分が育ったっていうのもあるので、二中に行かせるかなって思いました。

○委員 私は距離的に二中と干潟中の場所どっちが近いかって言ったら干潟中の場所のほうが近いし、道もまっすぐで、車の通りもしっかりあって、人の目のある通りを通るのかなって思います。新設することには賛成をしていたんですけど、やっぱり人数の問題、続く学校になるかどうかっていうのが私の中ではすごい課題かなって思っています。

事務局の皆さんにお願いというか、私の中で中学校ってこの学区の人たちはこの学校に行くともう決まってるものだって思ってたんですけど、さっき出た学校選択制とか小中一貫校っていう話を聞いて、そういう選択肢、そういうことをやってる学校もあるんだなっていうふうに初めて知りました。干潟中学区の皆さんの地域に学校を残したいっていう気持ちもすごく分かります。もし自分がそうだったらやっぱり地域に残したいなって思うので、何かそういう仕組みで学校をやってる、そういうところがあれば資料をいただきたいなと思います。この学区の人達はここに行きます、だけじゃないちょっと違ったシステムでやってるところがあればそれを知りたいなっていうふうに思います。

○委員 私は交通安全見守り隊って、千葉県のやつに入っていて、街頭に立ってて、毎月20日立ってるんですけど、今日は雨だったんですけど、驚くことに自転車通の中学生ゼロでした。小学生は2人で、横断歩道で旗振りをやりました。40分ぐらいの間にそれだけしかいませんでした。雨なんで大体送り迎えなんですけど、雨の日でも自転車の子いるんで、今日はたまたまいなかっただけ、あと3年生が卒業しちゃったんで少ないっていうのはあったんですけど、ひしひしと過疎を感じました。萬歳小の今度の新入生4人って聞いています。やっぱりどんどん人がいなくなって、税収も減って、行政サービスも悪くなって、交通も悪くなって、田畑は荒れ果て、家は空き家が増えて、雇用も減って、みんな職を求めて外へ出ちゃうっていう過疎化の悪循環っていうのが、ちょっと言い過ぎましたけど、ひしひしと感じています。だから旭市の郷土愛っていうのがあって、今度中学校のほうもその郷土愛っていうのを目標にやっていくってことと言ってましたけど、残念ながら今回は否決だったんですけど、これだけ干潟のことを思ってみんな意見を言ってくさっているんで、やっぱり一番は子供たちの郷土愛っていうのを育てていければと思います。

○会長 自分は仕事が成田のほうで、まだ干潟地区はそんなに荒れてないと思っていて、印西の端っこのほうは大分荒れています。旭はまだこれから立て直せるんじゃないかなって思ってます。

また話が飛んじゃうんですけども、色々お話いただいた中で、ちょっと質問したいのが、学区関係なく、中学校は新設したいという方はどのくらいいらっしゃいますか。

ありがとうございます。ちょっと個人的に聞きたかったのも。

そのほかご意見、ご要望をありますか。なければ時間も遅くなってきていますので、議事は終了にしたいと思います。進行を事務局にお返します。

#### **4 その他**

○事務局　それでは最後に次第の4、その他ということで、事務局より事務連絡をさせていただきます。

○事務局　（事務連絡）

#### **5 閉会**

○事務局　長時間にわたり本日の会議ありがとうございました。

これにて第3回代表者会議を閉会にさせていただきたいと思います。

【閉会：午後7時50分】